



日本医療マネジメント学会

第25回

熊本支部学術集会

PFM (Patient Flow Management) の改善への取り組み



プログラム
・
抄録集

会期

2023年3月11日(土)

会場

WEB開催

学術集会
会長

相良 孝昭

熊本市市民病院 院長



日本医療マネジメント学会

第25回 熊本支部学術集会

プログラム・抄録集

PFM (Patient Flow Management) の改善への取り組み

会期

2023年3月11日(土)

会場

WEB開催

学術集会
会長

相良 孝昭 熊本市民病院 院長

学術集会
事務局

熊本市民病院

〒862-8505 熊本市東区東町 4-1-60
TEL: 096-365-1711 FAX: 096-365-1712

学術集会
運営事務局

学会サポートセンター熊本
(株式会社コンベンションサポート九州)

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷 1-14-35 クロススクエア熊本九品寺 7F-F
TEL: 096-373-9188 FAX: 096-373-9191
E-mail: jhm25kumamoto@higo.co.jp

目 次

学術集会会長挨拶	1
参加者の皆様へ	2
座長・演者の皆様へ	4
日本医療マネジメント学会熊本支部 学術集会 開催地	5
日 程 表	6
プログラム	7
抄 録	
基 調 講 演	16
特 別 講 演	18
シンポジウム	22
共催セミナー	34
一 般 演 題	42
日本医療マネジメント学会の 入会案内と入会手続き	58
第25回日本医療マネジメント学会 学術総会のご案内	64
協賛一覧	65

日本医療マネジメント学会 第25回熊本支部学術集会の開催にあたって



日本医療マネジメント学会
第25回熊本支部学術集会

学術集会会長 **相良 孝昭** 熊本市立熊本市市民病院 院長

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、2023年3月11日土曜日にくまもと県民交流館パレアにて日本医療マネジメント学会第25回熊本支部学術集會を熊本市市民病院の担当で開催させて頂くことになりました。

日本医療マネジメント学会はクリティカルパスを主軸に「医療安全」「医療連携」「医療の質」などをテーマとして、医療に携わる全職種の方々が参加する学会です。本県においても2000年に第1回目の支部学術集會が国立熊本病院の担当で開催され、以後現在まで熊本支部の先生方のご努力で、県下医療機関の持ち回りとして開催が継続されています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大は本学術集會の開催にも大きな影響を及ぼしており、第22回開催(くまもと森都総合病院担当)は誌上開催となり、第23回(阿蘇医療センター担当)及び2022年の第24回(熊本赤十字病院担当)は完全Webによる学術集會開催となりました。現在も新型コロナウイルス感染症の発生状況は予断が許されない状況にあるため、今回も残念ながらWEB開催とすることといたしました。

今回のテーマは「PFM(Patient Flow Management)の改善への取り組み」とさせて頂きました。PFM(Patient Flow Management)とは入退院マネジメント強化の手法のことで、決して新しいコンセプトではありませんが、医療界における働き方改革や病院経営の改善などが求められている今日、益々PFMの充実が重要となっています。再度PFMを見直し改善へ取り組むことが重要ではないかと考え、今回のテーマとさせて頂きました。

シンポジウムはこのテーマで5施設から発表頂きますが、まず基調講演としてPFMの第一人者である佐久総合病院の西澤延宏先生にご講演頂き、また特別講演として大変優れた入退院支援体制を整えている済生会熊本病院の中尾浩一院長にも御講演賜ります。

現在、新型コロナウイルス感染症は鎮静化しつつありますがまたいつ次の波が来るかわかりません。更に感染症法上の位置づけが「5類」に変更される予定となっており、その対応に苦慮される状況であると思います。しかしそのような中においても、高齢者社会における医療改革、デジタル化、経営効率化、働き方改革が刻々と求められています。より質が高く安全で効率的な医療を目指すためにも、本学会に多数の皆様がご参加頂ければ幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年2月21日

参加者の皆様へ

■WEB 開催のご案内

1) WEB 配信内容

1. LIVE 配信（プログラム開催時1回のみ配信）

3月11日（土）会長講演・特別講演・シンポジウム・共催セミナー・一般演題

※配信ソフトは Zoom を利用いたします。

※講演時間は日程表をご確認ください。

2. オンデマンド配信（期間中 HP にて視聴可能）

各講演の収録動画（共催セミナーは除く）

2) オンデマンド配信期間

2023年3月17日（金）～4月14日（金）

3) 参加方法

事前の参加登録が必要です。

参加登録を完了された方に関覧用 ID とパスワードを配布いたします。

4) お問い合わせ先

日本医療マネジメント学会 第25回熊本支部学術集会 運営事務局

学会サポートセンター熊本（株式会社コンベンションサポート九州）

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-35 クロススクエア熊本九品寺7F-F

TEL：096-373-9188 FAX：096-373-9191

E-mail：jhm25kumamoto@higo.co.jp

■参加登録について

1) 参加費

学会会員	学会非会員
1,000円	3,000円

※ご入金後の取消しならびに払い戻しは出来ませんので予めご了承ください。

2) 参加登録受付期間

参加登録を完了された方に関覧用 ID とパスワードを配布いたします。

2023年1月18日（水）～3月31日（金）

3) 閲覧用 ID・パスワード送付

1. 登録完了後、ご登録いただきましたメールアドレスに参加登録完了メールが届きます。
2. ご登録いただきましたメールアドレスに閲覧用 ID・パスワードを送付いたします。
(会期1週間前を目途にお送りする予定です)

4) 抄録集

抄録集は WEB 上にて PDF データを配信します。

※抄録集の冊子は作成しませんので予めご了承ください。

5) 参加証について

参加登録を完了された方には、参加証兼領収書の PDF をご登録のメールアドレスへ送信いたします。

6) 一般演題発表者について

学術集会参加登録が必須となりますので、必ず参加登録をお願いいたします。

座長・演者の皆様へ

■座長へのご案内

1. セッション開始20分前までにご入室ください。
2. Zoom URL・ID・パスコードは、会期の1週間前にメールでお知らせします。定刻になりましたらセッションを開始してください。
3. 一般演題の演者の紹介は所属と氏名のみとし、演題名は省略してください。
4. 一般演題は発表6分、討論2分です。時間厳守をお願いします。
5. 会期当日は問い合わせ窓口を設置します。連絡先は事前に運営事務局よりご案内いたします。
6. 配信会場（くまもと県民交流館パレア）までお越しいただくことも可能です。

■演者へのご案内

1. セッション開始20分前までにご入室ください。
2. 発表形式はZoomを使用したPCプレゼンテーション（口演発表）となります。
3. マニュアルと手順を運営事務局よりご案内しますので、内容を必ず確認のうえ、当日ご発表ください。
4. Zoom URL・ID・パスコードは、会期の1週間前にメールでお知らせします。
5. 一般演題の発表時間は、8分（発表6分、討論2分）です。時間厳守をお願いします。
6. 会期当日は問い合わせ窓口を設置します。連絡先は事前に運営事務局よりご案内いたします。
7. 配信会場（くまもと県民交流館パレア）までお越しいただくことも可能です。

日本医療マネジメント学会熊本支部学術集会 開催地

	日 時	担当施設	会 場	テ ー マ
第1回	H12.11.25	国立熊本病院	ニュースカイホテル	クリティカルパス導入とアウトカムマネジメント
第2回	H13.4.7	国立熊本病院	ニュースカイホテル	クリティカルパスをめぐる今後の検討
第3回	H13.11.17	国立熊本病院	ニュースカイホテル	クリティカルパス導入とその後の展開 ～問題点の克服～
第4回	H14.4.20	熊本赤十字病院	熊本県立大学	パス導入時の問題点 導入後の問題点
第5回	H15.3.15	NTT 西日本九州病院	メルパルク熊本	クリティカルパス導入及び運用後の問題点 医療安全管理への取り組みについて
第6回	H16.3.13	西日本病院	熊本県立大学	クリティカルパスの更なる普及
第7回	H17.3.12	熊本大学医学部附属病院	熊本学園大学	今、医療マネジメントに何が必要か!?
第8回	H18.3.11	青磁野リハビリテーション病院	熊本学園大学	患者視点の地域完結型医療連携を探る
第9回	H19.3.10	熊本地域医療センター	熊本学園大学	患者の視点から地域医療連携を見直す
第10回	H20.3.8	熊本整形外科病院	熊本学園大学	《患者中心の医療を目指して》 医療安全の向上 連携医療の質の向上
第11回	H21.3.14	健康保険 人吉総合病院	人吉カルチャーパレス	未来につなげる地域創造型医療マネジメント ～病院地域の特性を活かして～
第12回	H22.3.6	国立病院機構 熊本南病院	熊本学園大学	医療安全と質の高い医療を求めて
第13回	H23.3.12	朝日野総合病院	熊本学園大学	患者中心の医療安全と地域連携
第14回	H24.3.10	国保水俣市立総合医療センター	水俣市総合もやい直し センター「もやい館」	地域医療の現状と展望 ～チーム医療で質の向上を目指す～
第15回	H25.3.9	青磁野リハビリテーション病院	くまもと森都心	プラザ患者と共に考える地域医療の推進
第16回	H26.3.8	健康保険 熊本総合病院	熊本総合病院・ セレクトロイヤル八代	ひとりひとりを大事にする地域包括ケアシステム
第17回	H27.3.14	荒尾市民病院	荒尾総合文化センター	地域完結型の医療マネジメントがめざすところ
第18回	H28.3.5	玉名地域保健医療センター	九州看護福祉大学	現代型のコミュニティとしての 地域包括ケアシステムがめざすもの
第19回	H29.3.18	熊本機能病院	くまもと県民交流館 パレア	新しいチーム医療 全ての答えは現場に
第20回	H30.3.17	天草地域医療センター	天草市民センター	地域でささえる医療と介護
第21回	H31.3.16	平成とうや病院	くまもと県民交流館 パレア	地域そして職場での連携と協働
第22回	R2.3.7	くまもと森都総合病院	熊本城ホール	「令和」新たな時代を見据えた医療マネジメントの方向性 ～働き方改革とチーム医療～
第23回	R3.3.13	阿蘇医療センター	Web 開催	with コロナ時代の医療マネジメント
第24回	R4.3.12	熊本赤十字病院	Web 開催	With/post コロナ時代を見据えた DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
第25回	R5.3.11	熊本市民病院	Web 開催	PFM(Patient Flow Management)の改善への取り組み

日 程 表

第1会場 会議室1		第2会場 会議室2	
9:00	8:50~9:00 開 会 式 9:00~9:32 一 般 演 題 1 [クリティカルパス] O-01 ~ O-04 座長：片渕 茂 朝日野総合病院 外科・院長補佐	9:00~9:32 一 般 演 題 3 [新型コロナウイルス感染症関連] O-11 ~ O-14 座長：杉田 裕樹 熊本地域医療センター 院長	
10:00	9:40~10:28 一 般 演 題 2 [医療安全/地域連携] O-05 ~ O-10 座長：平田 稔彦 熊本赤十字病院 院長	9:40~10:28 一 般 演 題 4 [医療の質/医療情報] O-15 ~ O-20 座長：米満 弘一郎 熊本機能病院 理事長	
11:00	10:40~11:40 特 別 講 演 医療モジュールを繋ぐ患者支援： 新しいPFMを考える 中尾 浩一 済生会熊本病院 院長 座長：相良 孝昭 熊本市民病院 院長	10:40~11:40 共催セミナー2 適切な睡眠薬使用で守る医療安全 —入院中のせん妄リスク・転倒リスクを考える— 大嶋 俊範 荒尾市民病院 脳神経内科 部長 座長：和田 邦泰 熊本市民病院 脳神経内科 部長 共催：エーザイ株式会社	
12:00	12:00~13:00 共催セミナー1 今後の医療制度について ～診療報酬改定の展望等～ 二川 一男 元 厚生労働事務次官・元 内閣官房政策参与・ 獨協医科大学医学部 特任教授 座長：横山 幸生 熊本市民病院 副院長 共催：株式会社八尾ムトウ	12:00~13:00 共催セミナー3 私たちが高齢者の骨折連鎖を防ぐためにできること ～院内FLSと地域連携を踏まえて～ 辻 王成 朝日野総合病院 整形外科 センター長 座長：井上 雅文 熊本セントラル病院 院長 共催：旭化成ファーマ株式会社	
13:00	13:10~14:10 基 調 講 演 急性期病院におけるPFM (Patient Flow Management) 導入 —働きがいのある働き方改革に向けて— 西澤 延宏 佐久総合病院・佐久医療センター 外科医長・臨床顧問 座長：野村 一俊 朝日野総合病院 院長		
15:00	14:25~16:25 シンポジウム PFMの改善へ向けて 座長：甲斐 豊 阿蘇医療センター 院長・事業管理者 吉田 節子 熊本地域医療センター 看護部 看護部長 S-1 菊川 浩明 熊本医療センター 地域医療連携センター長・診療部長 S-2 宮本 和彦 熊本赤十字病院 診療部長・整形外科及び リハビリ科部長・患者サポートセンター長 S-3 藤井 憲一郎 熊本総合病院 薬剤部長 S-4 木村 正裕 くまもと森都総合病院 地域医療連携室 看護師長 S-5 豊永 靖子 熊本市民病院 患者サポートセンター 副看護部長	14:25~15:13 一 般 演 題 5 [教育/患者サービス] O-21 ~ O-26 座長：別府 透 山鹿市民医療センター 事業管理者	
16:00	16:25~ 閉 会 式	15:20~16:08 一 般 演 題 6 [看護業務/その他] O-27 ~ O-32 座長：猪俣 裕紀洋 熊本労災病院 院長	

プログラム

基調講演 13:10～14:10

第1会場(会議室1)

座長：野村 一俊(朝日野総合病院 院長)

急性期病院における PFM (Patient Flow Management) 導入 —働きがいのある働き方改革に向けて—

西澤 延宏 佐久総合病院・佐久医療センター 外科医長・臨床顧問

特別講演 10:40～11:40

第1会場(会議室1)

座長：相良 孝昭(熊本市民病院 院長)

医療モジュールを繋ぐ患者支援：新しい PFM を考える

中尾 浩一 済生会熊本病院 院長

共催セミナー1 12:00～13:00

第1会場(会議室1)

座長：横山 幸生(熊本市民病院 副院長)

今後の医療制度について ～診療報酬改定の展望等～

二川 一男 元 厚生労働事務次官・元 内閣官房政策参与・獨協医科大学医学部 特任教授

共催：株式会社八尾ムトウ

共催セミナー2 10:40～11:40

第2会場(会議室2)

座長：和田 邦泰(熊本市民病院 脳神経内科 部長)

適切な睡眠薬使用で守る医療安全 —入院中のせん妄リスク・転倒リスクを考える—

大嶋 俊範 荒尾市民病院 脳神経内科 部長

共催：エーザイ株式会社

私たちが高齢者の骨折連鎖を防ぐためにできること ～院内 FLS と地域連携を踏まえて～

辻 王成 朝日野総合病院 整形外科 センター長

共催：旭化成ファーマ株式会社

座長：甲斐 豊(阿蘇医療センター 院長・事業管理者)

吉田 節子(熊本地域医療センター 看護部 看護部長)

[PFM の改善へ向けて]

S-1 国立病院機構熊本医療センターの PFM の現状と今後の改善に向けて

菊川 浩明

熊本医療センター 地域医療連携センター長・診療部長

S-2 当院における PFM の導入：効果と課題

宮本 和彦

熊本赤十字病院 診療部長・整形外科及びリハビリ科部長・患者サポートセンター長

S-3 薬剤部と PFM

～地域連携と多職種協働～

藤井 憲一郎

熊本総合病院 薬剤部長

S-4 がん診療連携クリティカルパス「私のカルテ」による地域連携を目指して ～10年の取り組みと今後の課題～

木村 正裕

くまもと森都総合病院 地域医療連携室 看護師長

S-5 当院における患者サポートセンター開設の経緯と運用の実際

豊永 靖子

熊本市市民病院 患者サポートセンター 副看護部長

一般演題プログラム

一般演題1 9:00～9:32

第1会場(会議室1)

座長：片瀨 茂(朝日野総合病院 外科・院長補佐)

[クリティカルパス]

O-01 当院のクリティカルパス推進委員会におけるパス適用率向上への取り組み

○山崎 浩
熊本市民病院 血液腫瘍内科

O-02 演題取り下げ

O-03 小児科におけるクリニカルパス使用推進の取り組み

○榎島 美静
熊本市民病院

O-04 血液透析用バスキュラーアクセス人工血管移植術のパスを作成して

○重村 晶子
さくら病院

一般演題2 9:40～10:28

第1会場(会議室1)

座長：平田 稔彦(熊本赤十字病院 院長)

[医療安全／地域連携]

O-05 インシデント報告から透析センターの業務改善へ

○松田 理恵、鶴田 豊
鶴田病院

O-06 集中治療における身体抑制に関する実態調査

○中本 賢秀
荒尾市民病院

O-07 確認業務の実際についての考察

～注射実施前バーコード認証業務の実施率調査の結果を受けて～

○野口 弘稔、高瀬 正樹
熊本市民病院

O-08 患者誤認防止対策への取り組み

○岩下 武司
熊本労災病院

O-09 医療的ケア児等に対する退院時薬剤情報提供の取り組み

○中村 真希、早坂 香織、廣瀬 龍一、吉田 響、松林 知佳、喜多岡 洋樹、田中 泉、
伊東 恵子、山室 蒔子
熊本市市民病院

O-10 NICU 入院中の退院困難患児の退院調整

○鋤田 晃子、緒方 美穂
熊本市市民病院 患者サポートセンター

一般演題3 9:00～9:32

第2会場(会議室2)

座長：杉田 裕樹(一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター 院長)

[新型コロナウイルス感染症関連]

O-11 COVID-19の流行が高齢者肺炎に及ぼす影響について

○筒井 宏益、葛城 裕、渡辺 充伸、瀬戸口 敬介
江南病院

O-12 クラスタ収束に向けての取り組み

～タスクフォースの活動報告～

○桑原 美穂、村田 千福、馬場 信裕、本田 千春、宮田 昭、川富 正治
さくら病院

O-13 COVID-19における職員の罹患と濃厚接触状況の調査報告

○村上 春美
熊本市市民病院

**O-14 重点医療機関としての新型コロナウイルス感染症診療と通常診療との
両立における、放射線部門の取り組み**

○鶴井 真彦
水前寺とうや病院

[医療の質／医療情報]

O-15 SPPBの点数を基準として、早期に退院時目標移動手段への移行判定は可能か？

- 松崎 亘
水前寺とうや病院

O-16 関節リウマチ(RA)患者の外来リハビリテーションにおける
身体機能向上及び病院収益増加に向けた取り組み

- 尾上 壮一郎
くまもと森都総合病院 医療技術部 リハビリテーション科

O-17 地域包括ケアにおける再入院の現状と課題

- 榮 香織
水前寺とうや病院

O-18 新病院開院後の当院における院内発生褥瘡の実態調査

- 若宮 まみ
熊本市民病院

O-19 当院における心疾患患者の両立支援
～若年者の支援から見る制度利用、職場調整について～

- 椋谷 豊、松村 敏幸
熊本労災病院 治療就労両立支援部

O-20 心不全患者の就労支援

- 松村 敏幸、椋谷 豊
熊本労災病院 治療就労両立支援部

[教育／患者サービス]

O-21 コロナ禍における新人看護職員育成
～部署配属前に実施すべき新人看護職員研修の明確化～

- 里 史、島村 理絵、森本 由美子
熊本市民病院

- O-22** コロナ禍における院内研修
～オンデマンドを活用した糖尿病看護研修～
○遠藤 靖子、嶋田 枝里子
熊本市民病院
- O-23** シェント外来での基幹病院との連携、情報共有による PFM
○近藤 翔太
さくら病院
- O-24** 当院での患者サービス向上に向けた取り組みの紹介
○稲田 清美
熊本市民病院
- O-25** 緩和ケア病棟における在宅復帰率上昇に向けた取り組みの効果
～死を待つ病棟イメージからの脱却～
○川口 安代、豊田 恵美、延末 一洋
くまもと森都総合病院
- O-26** 『次世代医療基盤法に基づく医療情報提供のお知らせ』に関連した
当院オプトアウトの再検討
— 広義の PFM 悪化をきたさぬために —
○富田 正郎
熊本医療センター

一般演題 6 15:20～16:08

第2会場(会議室2)

座長：猪俣 裕紀洋(熊本労災病院 院長)

[看護業務／その他]

- O-27** 一般病棟看護師が抱える緩和ケアに対する苦手意識について
～介入困難に影響を及ぼす要因の分析～
○青木 圭
鶴田病院
- O-28** 変化する手術室業務における臨床工学技士の関わり
○児玉 博樹
熊本市民病院

O-29 熊本市市民病院における摂食・嚥下障害専門チーム(嚥下チーム)の活動報告

○大津 愛美¹⁾、早野 瑞季²⁾、園田 亮子¹⁾、岩村 健司²⁾、町田 李菜³⁾、太田 和俊³⁾

1) 熊本市市民病院 栄養管理室、2) 熊本市市民病院 リハビリテーション室 言語聴覚士、
3) 熊本市市民病院 歯科口腔外科

O-30 当院での眼科薬物治療における業務効率化に向けた取り組み

○尾上 正仁、田中 由起子、楠本 将裕、金崎 さやか、浦田 詩乃、中澤 瞳、
大塚 友絵、大野 瑞穂、山室 路子

熊本市市民病院

**O-31 患者サポートセンターの薬剤師介入による患者の安全性および
病棟業務への効果の検討**

○小島 嘉珠正

熊本市市民病院

O-32 認知症ケアチーム介入患者における薬剤使用状況の調査

○中澤 瞳¹⁾²⁾、浦田 詩乃¹⁾²⁾、神吉 英樹²⁾、田中 泉¹⁾、中村 文¹⁾、毛利 昌平¹⁾、
田口 佑佳¹⁾、和田 邦泰²⁾、山室 路子¹⁾

1) 熊本市市民病院 薬剤部、2) 熊本市市民病院 認知症ケアチーム

講

演

急性期病院における PFM (Patient Flow Management) 導入 —働きがいのある働き方改革に向けて—

西澤 延宏

佐久総合病院・佐久医療センター 外科医長・臨床顧問

現在、どの病院も、医師の働き方改革への対応を進め、医師の時間外労働時間を短縮していく必要がある。今後、医師の生産性を向上させ、その結果として労働時間が減少する病院マネジメントが必要とされるが、その一つとして、PFM (Patient Flow Management) がある。

PFM は、外来段階で、主として予定入院患者に対して、多職種によりリスクの軽減・対応を行うとともに、効率化を進め、医師・看護師の負担軽減を図る考え方である。

佐久医療センターでは、PFM を取り入れた患者サポートセンターを設置し、全予定入院患者を対象に、入院前支援業務を行っている。

患者サポートセンターでは、看護師は患者ごとの担当制で、検査データや画像診断レポートのチェックも含め、リスク管理を行っている。また、薬剤師は持参薬・リスクのある薬剤への対応を行っている。管理栄養士も外来段階で栄養指導や栄養管理を行っている。また、医師事務作業補助者が、検査やクリティカルパスの代行入力を行っている。現在、医師は入院適応と入院日を決めるだけで、それ以外の対応は他のスタッフが行っている。

PFM を進めるには、各々の医師が指示を出さなくとも、他職種が業務を行えるように、標準化が必須である。当院では、抗菌薬の使い方や術前採血・処置などが標準化され、血糖管理や腎機能低下などへの対応も、フローチャートを整備して、統一している。その結果、クリティカルパスの使用率は70%を超えている。

PFM の導入は、医師・看護師の負担軽減ができ、医師が本来業務に専念できることは、労働時間の短縮と共に働きがいにつながる。また、手術のキャンセルの減少、術前日数の減少、病床の混合利用の促進などの点で、効率化され、経営改善にも貢献できる。

PFM への取り組みは、医師の働き方改革への対応だけでなく、医療の質の向上につながり、今後の急性期病院にとって重要になる。



西澤 延宏
(にしざわ のぶひろ)

略 歴

- 1982年 千葉大学医学部 卒業
同年、佐久総合病院 研修医として就職
- 1986年 国立がんセンター 外科
- 1992年 佐久総合病院 外科医長・呼吸器外科医長・研修医教育科医長
2008年 診療部長
- 2010年 副院長・外科統括部長
- 2013年 副統括院長兼務
- 2020年～ 千葉大学 客員教授
- 2022年～ 役職定年で、佐久総合病院 外科医長・臨床顧問
現在に至る

【専 門】

呼吸器外科・外科

【学 会】

- 日本医療マネジメント学会 評議員
日本診療情報管理学会 評議員
日本農村医学会 評議員

一般演題

当院のクリティカルパス推進委員会における パス適用率向上への取り組み

○山崎 浩

熊本市民病院 血液腫瘍内科

【はじめに】 2019年10月に当院は新病院として開院したが、新病院でのパス適用率の目標は60%に設定された。目標達成の為に委員会として、各診療科との協議やパス作成などの取り組みについて報告する。

【活動内容】 旧病院の2015年のパス適応率は6.14%であり、パス数も64しか無かった。2018年5月に各診療科がパス適用率60%以上となる疾病を解析し、新規パス作成をお願いした。各診療科と委員会間で協議を行い、入院から退院までのパス以外に、目的に応じた部分的なパス作成などの工夫を行った。その結果、新病院開院時点で290の新規パス作成があり、合計314のパスで開院を迎えた。2019年10月はパス適用率54.2%であったが、2019年12月に70%を越え、2020年12月以降は80%以上を維持している。開院後もパス適用が少ない診療科への指導や新規パスの審議を簡略化するなどの工夫を続けた。また、パスのPDCAサイクルを回す目的でのパス大会を2021年6月より開始した。

【考察】 明確な目標を設定して活動することにより、パス作成と適用に関しては目標を達成した。しかし、パス大会を行うと、アウトカムの設定が甘く、評価者による評価がバラバラになっており、バリエーション分析が出来ないなどの課題も見えてきた為、パスの修正に取り組んでいる。

【結論】 クリティカルパスの作成と運用は強いリーダーシップがあれば何とかできるが、パスのPDCAサイクルを回す為には継続的な委員会活動が必要不可欠である。

演題取り下げ

日本医療マネジメント学会 第25回熊本支部学術集会

学術集会会長：相良 孝昭

事務局：〒862-8505 熊本市東区東町4-1-60
熊本市民病院
TEL：096-365-1711 FAX：096-365-1712

運営事務局：〒862-0975
熊本市中央区新屋敷1-14-35 クロススクエア熊本九品寺7F-F
学会サポートセンター熊本(株式会社コンベンションサポート九州)
TEL：096-373-9188 FAX：096-373-9191
E-mail：jhm25kumamoto@higo.co.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025



日本医療マネジメント学会 第25回熊本支部学術集会

学術集会事務局

熊本市民病院

〒862-8505 熊本市東区東町4-1-60
TEL : 096-365-1711 FAX : 096-365-1712

学術集会運営事務局

学会サポートセンター熊本 (株式会社コンベンションサポート九州)

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-35 クロススクエア熊本九品寺7F-F
TEL : 096-373-9188 FAX : 096-373-9191
E-mail : jhm25kumamoto@higo.co.jp